

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：地域政策課  
 担当名：地域振興担当  
 内線：2771

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B29	埼玉つながり創出推進事業費			一般会計	総務費	市町村振興費	市町村連絡調整費	地域づくり推進事業費		
事業期間	令和 2年度～ 令和 6年度	根拠法令	なし				宣言項目 分野施策	061348 郷土の魅力の創造発信	SDGsゴール 8, 9, 11, 12, 17 SDGsターゲット 8-9, 9-1, 11-a, 12-	
1 事業概要	<p>人材不足に悩む地域における生産活動・文化的活動等の担い手を確保するため、そうした人材を外部から呼び込むきっかけとなる「関係性」を創出し、関係人口を増やすことにより地域の活性化を図るとともに、本県の地方創生の更なる推進を図る。</p> <p>(1) 交流事業                      ア 地域連携交流事業 △2,001千円                      新型コロナウイルス感染症の影響により、補助対象となる事業が実施されなかったことによる減                      イ 埼玉「体験型」ふるさと納税返礼品の開発 △2,131千円                      ふるさと納税体験型返礼品の共同開発を縮小したことによる減</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      ア 交流事業                      (ア) 地域連携交流事業                      地域の新たな魅力発見を目的とした県内外都市部と県内市町村との交流に対して、支援を行う。                      (イ) 埼玉「体験型」ふるさと納税返礼品の開発                      ふるさと納税の返礼品の中でも、実際に現地に赴ききっかけとなる「体験型」に特化して、市町村の返礼品開発の支援を行う。                      イ 官民連携担い手創出事業                      地域振興の担い手となる関係人口等の創出に係る情報発信等を行う。</p> <p>(2) 事業計画                      令和3年度は、モデル市町村の拡大を図るとともに、先行事例のノウハウを元に、地域関わり隊の隊員やその活動場所、事業実施市町村の増加を図る。</p> <p>(3) 事業効果                      全ての市町村において、体験型のふるさと納税返礼品を開発、提供が促進される。                      人口減少が著しい地域における地域の生産活動や文化的活動の担い手の確保(R6年度末500人日)                      体験型ふるさと納税の申込者数の増加 H31(R1)年:約1,000件 → R6年:3,000件</p> <p>(4) 補正予算の概要                      ア 交流事業                      (ア) 地域連携交流事業                      新型コロナウイルス感染症の影響により、補助対象となる市町村事業が実施されなかったことによる減額                      (イ) 埼玉「体験型」ふるさと納税返礼品の開発                      ふるさと納税体験型返礼品の共同開発を縮小したことによる減額</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.8人=17,100千円										
財 源 内 訳										
予算額								一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△4,132								△4,132	2,369
現計額	6,501								6,501	